

# 第3回国連防災世界会議について

参事官

## 1 国連防災世界会議とは

国連防災世界会議は、国際的な防災戦略について議論する国連主催の会議です。

第1回会議は平成6年（1994年）に横浜市で、第2回会議は平成17年（2005年）に神戸市で開催され、第2回会議では、平成17年から平成27年（2015年）までの国際的な防災の取組指針である「兵庫行動枠組（HFA: Hyogo Framework for Action）」が策定されました。

## 2 第3回国連防災世界会議について

第3回国連防災世界会議は、平成27年3月14日（土）から18日（水）まで仙台市で開催されます。各国首脳、閣僚、国際機関代表、国際認定NGOなど5千人、全体で4万人以上の参加が見込まれており、「兵庫行動枠組」の後継枠組を策定するとともに、東日本大震災からの被災地の復興や防災に関する我が国の知見を世界に発信する重要な会議となります。

また、会議期間中には、国連主催の本体会議とは別に、政府機関、地方自治体、NPO、NGO、大学、諸団体などが主催する復興防災をテーマとしたシンポジウム・展示などのパブリックフォーラム（関連事業）が多数開催されます。

### 〈第3回国連防災世界会議 概要〉

- 日程 平成27年3月14日（土）～18日（水）
- 構成

#### 【本体会議】

- ・主催：国際連合
- ・参加者：国連全加盟国、国際機関、国際認定NGO等
- ・会場：仙台国際センター

#### 【パブリックフォーラム（関連事業）】

- ・主催：政府機関、地方自治体、NPO、NGO、大学、諸団体等
- ・参加者：延べ4万人以上を予定
- ・会場：仙台市及び東北の複数会場

## 3 本体会議について

本体会議は、「兵庫行動枠組」の後継枠組の策定に向けて議論する「全体会合」と各国の閣僚（一部有識者を含む。）により防災全般の展望を議論する「政府間対話」、有識者により個別のテーマについて議論する「ワーキングセッション」で構成されます。

## 4 総合フォーラムについて

パブリックフォーラム（関連事業）の中核事業として、日本政府、仙台開催実行委員会が主催する「総合フォーラム」が開催されます。

消防庁は、3月14日（土）15:30～17:30、東北大学百周年記念会館川内萩ホールにおいて、「地震、津波、土砂災害時等における消防団、地域住民の役割」というテーマに沿ってフォーラムを開催し、以下の方に活動事例発表を行っていただき、室崎益輝神戸大学名誉教授に総括をしていただく予定です。



UN World Conference on  
Disaster Risk Reduction  
2015 Sendai Japan

#### 〈公式ロゴマーク〉

災害に対して強靱（レジリエント）な社会に向けて、人々が共に手を携えて行動を起こすイメージを表しています。また、ロゴに使用されている5つの色は、2005年以来、災害リスク軽減に向けたグローバルな取り組みにおいて中心的な役割を果たしてきた「兵庫行動枠組2005－2015（HFA）」の5つの優先行動を表しています。

## 【活動事例発表】

- ・宮城県南三陸町役場 佐々木由貴氏  
「東日本大震災を経験して」
- ・福島県南相馬市消防団団長 長澤初男氏  
「東日本大震災 南相馬市の状況と消防団活動」
- ・岩手県立大学総合政策学部1年 菊池のどか氏  
「いのちでんこ～釜石東中学校の活動～」
- ・長野県白馬村堀之内区自主防災組織会長 鎌倉宏氏  
・同村 三日市場区自主防災組織会長 太田史彦氏  
「長野県神城断層地震時における自主防災組織の活動」
- ・東京都大島町消防本部次長 羽根高明氏  
「台風26号土砂災害 大島町消防団活動報告」

## 5 屋外展示の実施について

消防庁では、我が国の優れた消防科学技術や東日本大震災を踏まえた対策等を紹介するために、仙台市役所と夢メッセみやぎ屋外展示場において屋外展示を行います。

仙台市役所では、3月14日（土）・15日（日）の2日間、消防研究センターによる消防用偵察ロボット、無人ヘリ、パネル等の消防科学技術の展示や水陸両用バギーの展示を行います。

また、仙台市消防局特別高度機動救助隊が高層階にいる逃げ遅れた人を救出、市役所屋上から地上部分に張られたロープを降下する消防救助演習を行うとともに、東京消防庁第三消防方面本部消防救助機動部隊は化学災害の現場から傷病者を救出・救護する消防演習を行います。

その他、演習実施中以外は、演習に参加する消防特殊車両等の展示も行います。

夢メッセみやぎでは、3月15日（日）から17日（火）まで「防災産業展in仙台」が開催され、このイベントの特別企画として屋外展示場において習志野市消防本部の「拠点機能形成車両」と新潟市消防局の「津波・大規模風水害対策車両」を展示します。

大規模災害発生時に被災地での長期間にわたる消防活動の支援拠点となる「拠点機能形成車両」には大型エアータント、調理器具などが装備されています。

また、津波や大規模風水害により浸水した地域において人命救助活動を支援する「津波・大規模風水害対策車両」には、高い踏破性能を有する水陸両用バギーが積載されており、会場では水陸両用バギーによる人命救助のデモンストレーション走行を行います。



拠点機能形成車両



津波・大規模風水害対策車両

## 問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官  
TEL: 03-5253-7507